



☆店頭購入へ行ってきました☆

11月30日平安堂上田店に店頭購入へ行ってきました。今回は文庫本の小説を中心に44冊選んできました。その中の一部を紹介します！

『春待つ僕ら』 あなしん 著 講談社

高校入学を機に「脱ぼっち」を目指す美月だけれど、何をやっても上手くいかない。バイト先に校内で人気のバスケ部4人が現れ、平凡だった日常をひっかき回す。

バスケ・友情・恋そして大事なものがみつければ、人は強くなれるというお話です。



『火のないところに煙は』 芦沢 央 著 新潮社

フィクションなはずなのに、ノンフィクションのように思えるお話です。ホラーなどが好きな人にはオススメ！

短編が5つ収録されていて、それぞれの話の最後は驚きのオチがまっています。



『明日、世界が消える前に』 霜月りつ 著 ポプラ社

ある日、突然事故にあった女子高校生あき菜が迷いこんだ所は、一面白い霧で覆われたあの世とこの世の狭間。そこで言われたのは、「時間内にターゲットを幸せにしないと自分の命が消える」と・・・迷い込んできた人々に与えられた試練をバタバタしながら解決する場面がとても印象的です。



12月28日(金)から1月7日(月)まで図書館閉館です。

督促状をもらった人は、27日までに返却をしてください。